

酸素 (支燃性ガス 無色・無臭)

分子式	O ₂	分子量	32.0	容器の色	黒色
用途	溶接、溶断、医療・高高度飛行・登山用の吸入用、製鋼用・冶金用・化学工業原料ガス製造用、ロケット助燃剤				
該当法規	高圧ガス保安法				
物理的性質	<p>支燃性の無色、無臭のガス（液化酸素は淡青色）</p> <p>比重：1.105（空気より重い）</p> <p>沸点：-183</p> <p>液比重：1.141（-183）</p> <p>爆発範囲：酸素自体は燃えないが、他の燃焼を助ける性質（支燃性）がある。</p>				
化学的性質	<p>酸素濃度が高くなるにつれ、可燃性ガス、可燃物の爆発範囲、発火温度、火炎温度は高くなる。</p> <p>液化酸素は酸素ガスよりも支燃性が強い。</p> <p>活性が高く、通常の場合では希ガス、ハロゲン、金、銀、白金以外のほとんどの元素と反応する。</p>				
注意事項	<p>酸素に油脂類は厳禁であり、容器、弁等などに油分を付着させてはならない。また、油の付いた手で取り扱わない。</p> <p>酸素容器、器具類に火花や炎が降りかからないようにする。</p> <p>他の可燃性ガス容器や燃えやすいものと一緒に貯蔵しない。</p> <p>酸素ガスを圧縮空気や窒素の代わりに使わない。</p>				

酸素（支燃性ガス 無色・無臭）			
事故時の措置			
消火方法	水、粉末、二酸化炭素が有効。ただし、酸素の噴出しているときは粉末、二酸化炭素は効果がない。	処理剤	
漏えいしたとき	<p>すべての着火源を取り除く。</p> <p>火災の危険を減らすため、換気する。</p> <p>木、紙、油等の可燃物を取り除く。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>速やかに酸素の供給を断つ。</p> <p>周囲の可燃物を遠ざける。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p>		
救急処置	<p>凍傷になった場合、まず凍傷を起こした部分の衣服を取り除く。次に患部を冷水で徐々に暖める。患部が常温に戻り、更に熱を持つ場合は冷水で冷やす。ガーゼなどで患部を保護して医師の処置を受ける。</p> <p>凍傷の主な症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感覚が無くなり、黄色いろう質状になる ・ 暖まると、水ぶくれができる <p>痛みが出て患部を絶対にこすらない（化膿しやすくなる）</p> <p>眼に噴出ガスを受けた場合は、冷却しすぐに医者処置を受ける。</p> <p>酸素濃度 25% 以上の酸素を呼吸すると有害となる場合がある。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>空気中の酸素濃度は 18vol% 以上 25% を超えないようにする。</p> <p>低濃度では酸欠症状、高濃度ではめまい、筋けいれん、錯乱等の酸素中毒がおきる。</p>		
緊急通報例 119 (消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「酸素ガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。(漏れて火災になっています。)」 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		